

連絡先  
自治行政局国際室  
担当：原参事官補佐、<sup>くわた</sup>柴田主査、中村事務官  
電話：03-5253-5527（直通）

# 第10回 JET地域国際化塾（長崎県）の開催

## 開催概要

- 日程：令和7年（2025年）12月17日（水）～12月19日（金）
- 参加者：JETプログラムに参加している外国青年  
地方自治体・地域づくり関係者 約80名
- 主催：総務省・長崎県
- テーマ：被爆80年の節目の年に長崎で学ぶ地域づくり

## 実施内容

### ● 1日目 被爆体験講話・平和に関するワークショップ

被爆体験講話：三瀬 清一郎 氏

ワークショップ：一般社団法人Peace Education Lab Nagasaki 代表理事 林田 光弘 氏

### ● 2日目 地域おこし協力隊等の地域づくり関係者が活動する地域での現地視察・意見交換

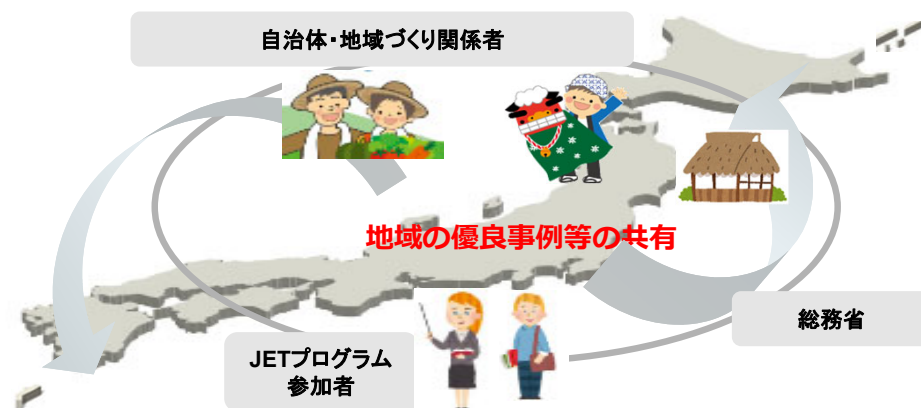
○主な視察先（大村・波佐見エリア、西海エリアの2つのグループで、地域おこし協力隊経験者等が活動する地域活性化の現場を体感）

- ・おおむら夢ファーム シュシュ：「令和5年度ふるさとづくり大賞」内閣総理大臣賞を受賞した実績や、地域農業の活性化と後継者育成、地域振興について意見交換
- ・くらわん館：波佐見町の伝統工芸である波佐見焼の絵付けの体験や地域おこし協力隊員との意見交換
- ・音浴博物館：廃校になった小学校分校の校舎を活用した全国的にも珍しい「レコード」に着目した博物館視察や地域おこし協力隊員との意見交換
- ・雪浦地区：まち歩きを行い、川添酢造の視察など地域一体となっていて行っている取り組みを視察

### ● 3日目 JET青年によるグループワーク・発表

○現場視察や長崎県で活動する地域おこし協力隊経験者等の地域の活性化の取組と情報発信の手法を学んだ上で、グループで意見交換・発表を実施。

ファシリテーター：株式会社つくるのわデザイン 代表取締役 岩本 諭 氏



#### JETプログラム参加者

地域への理解の深化と貢献  
(終了後も日本と母国との  
架け橋として活躍)

地域の優良事例や  
ノウハウの共有

#### 地域づくり関係者

(地域おこし協力隊など)  
外国人の視点を踏まえた  
多様な地域活性化の実現



現地視察・意見交換のイメージ

# (参考) 第9回JET地域国際化塾(福島県)について(R6.12月実施)

## 福島県でのJET地域国際化塾の概要(令和6年度12月実施)

### <1日目: 福島県における地域活動に関する事例発表>

- 福島県 内堀 雅雄 知事から、復興・復旧の歩みや、複合災害(地震・津波・原子力災害)の教訓等から「持続可能な社会・地域づくり研究・創造する」福島オンラインの新しいスタディープログラムなどの取組についてのご挨拶(ビデオメッセージ)や、地域づくり関係者から事例発表、意見交換を行い、JET青年の地域活動に対する関心を喚起。

#### 高橋 大就氏(一般社団法人 N o M A ラボ 代表理事)

「Why FUKUSHIMA coastal area is the most exciting now?」  
(なぜ今、福島県浜通り地域が一番あついのか?)をテーマに、新たな価値の創出についての取組や  
インバウンドの需要喚起などについて、海外への情報発信や取組について講演

### <2日目: 地域おこし協力隊等の地域づくり関係者が活動する地域での現場視察・意見交換>

- 地域おこし協力隊をはじめとした地域づくり関係者が活動する現場を視察するとともに、地域の文化や伝統産業を継承させるための取組を体験し、車座(意見交換)を通じて、地域の魅力を理解  
(主な視察先: 酒造りの担い手育成、地元木材を活用した地域活性化方策、伝統的な製紙技術の未来への継承活動等)

### <3日目: 事例発表と現地視察を踏まえた成果発表>

- 地域の魅力、地域を更に発展させる取組などについて、JET青年同士でグループディスカッション
- 各グループの発表に対して地域づくり関係者からの講評を行い、JET青年の地域活動に対する理解を深化させることで、JET青年による地域活動への取組を促進

## J E T 青年の地域活動への参画について(J E T 地域国際化塾の参加者へのアンケート)

- ・地域の魅力について、海外在住の家族や国内外の知人(外国人)に対して、SNSを使ってPRする。
- ・JET参加者は、外国語授業以外に、地域活性化や文化振興などの様々な地域活動に携わることができることを認識。
- ・今回の知見・経験を勤務する学校の生徒にも共有し、地域での活動や文化について学ぶ学習を実施する予定。
- ・JETプログラム終了後も福島県に残って地域活性化の力になれるような活動をしたい。



内堀 雅雄 福島県知事のご挨拶



高橋 大就氏の講演の様子



地域づくり関係者から話を聞くJET青年



和紙の伝統技術を学ぶJET青年



グループワークの様子